

ガバナー事務局だより

地区ロータリアンの皆さま、いよいよ 2023-2024 年松浦光紀ガバナー年度が始まりました。小樽南 RC としては 1989-1990 年初谷真一ガバナー以来 33 年ぶり 2 人目のガバナー輩出となります。

ガバナー事務所スタッフは、小樽南 RC より 8 名、親クラブの小樽 RC、子クラブの小樽銭函 RC、札幌西 RC、札幌北 RC から各 1 名の総勢 12 名の地区幹事。小樽南 RC より 2 名、札幌西 RC、札幌北 RC より各 1 名総勢 4 名の財務委員。初谷年度の地区代表幹事斎田義孝さんをロータリーの友地区代表委員に配し、総勢 17 名という大所帯で松浦年度の舵取りを行います。

小樽が生んだプロレタリア作家小林多喜二は、我が街小樽を「北海道の心臓」と称しました。北海道開拓の玄関口小樽に上陸した私たちの祖先が、「希望」に胸を膨らませるで血液の如く道内各地に散らばりました。その「北海道の心臓」小樽から松浦丸の船出です。

1 年後、無事帰港できるようガバナー事務所スタッフ一同オールを漕ぎ続けますので、ご指導、ご鞭撻、そしてなにより応援よろしくお願いいたします。

地区代表幹事
斎藤 仁

編集後記

私は、この度ガバナー月信の編集を担当することとなりました。小樽南ロータリークラブの中山です。この貴重な機会を頂き、心より感謝申し上げます。

まずは、編集担当委員と力を合わせて、皆様に価値ある情報と魅力的なコンテンツを提供するために精一杯努めてまいります。私たちは、ロータリークラブの理念と活動を広め、クラブメンバーと地域社会の架け橋となる役割を果たすため、情報を的確かつ鮮度高くお届けすることに注力いたします。

また、私自身もロータリークラブについて学び、成長する機会と捉えております。会員の皆様からの貴重なご意見やエピソードを通じて、ロータリークラブの活動や価値についてより深く理解し、広めることを目指します。そのために、各メンバーと協力し合い、より良いガバナー月信を作り上げるための努力を惜しまない覚悟で臨んでまいります。私たちの活動を支えてくださるすべての方々に心から感謝申し上げます。

皆様のご支援に感謝しつつ、今後もより良いガバナー月信をお届けできるよう努力いたします。

2023-2024 年度 ガバナー月信委員会 委員長
中山 仁史